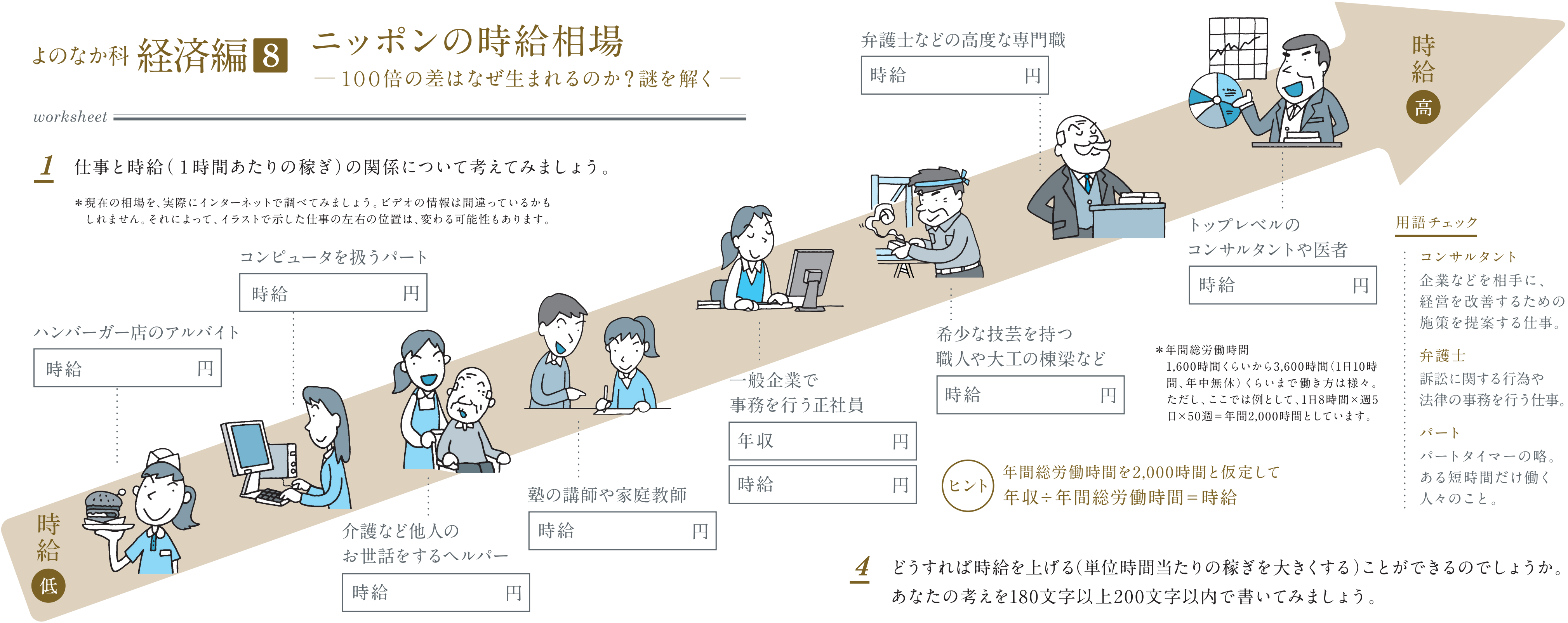
よのなか科 経済編 8 ニッポンの時給相場

―100倍の差はなぜ生まれるのか？謎を解く―

worksheet

1 仕事と時給（1時間あたりの稼ぎ）の関係について考えてみましょう。

＊現在の相場を、実際にインターネットで調べてみましょう。ビデオの情報は間違っているかもしれません。それによって、イラストで示した仕事の左右の位置は、変わる可能性もあります。



ハンバーガー店のアルバイト
時給　　　円

コンピュータを扱うパート
時給　　　円

介護など他人のお世話をするヘルパー
時給　　　円

塾の講師や家庭教師
時給　　　円

一般企業で事務を行う正社員
年収　　　円
時給　　　円

希少な技芸を持つ職人や大工の棟梁など
時給　　　円

弁護士などの高度な専門職
時給　　　円

トップレベルのコンサルタントや医者
時給　　　円

＊この矢印上の仕事の位置は、各職業の需給状況によっても変わります。また、あくまでも時給換算した付加価値の比較であり、その仕事の重要性や働く意義の度合いとはまったく関係ありません。

日本の仕事を時給に換算すると、おおむね【　　　】円から【　　　】円の間になる。

【　　　】倍の差

3 この差は、何によって生じるのでしょうか。

［　　　　　　　　　　　　　］

2 会社員の一般的な年収を調べて、年間の総労働時間が2,000時間だとしたら、どれくらいの時給になるか計算してみましょう。

＊年間総労働時間
1,600時間くらいから3,600時間（1日10時間、年中無休）くらいまで働き方は様々。ただし、ここでは例として、1日8時間×週5日×50週＝年間2,000時間としています。

ヒント　年間総労働時間を2,000時間と仮定して
年収÷年間総労働時間＝時給

用語チェック

コンサルタント
企業などを相手に、経営を改善するための施策を提案する仕事。

弁護士
訴訟に関する行為や法律の事務を行う仕事。

パート
パートタイマーの略。ある短時間だけ働く人々のこと。

4 どうすれば時給を上げる（単位時間当たりの稼ぎを大きくする）ことができるのでしょうか。あなたの考えを180文字以上200文字以内で書いてみましょう。

（原稿用紙欄：100／180／200）